

能登香の里・小房

環境整備作業

二月二十五日

能登香の里小房の環境整備作業を行いました。今回は、住民5人と重機1台で、小房大橋から、前年度残っていたクマザサや木をきれいに刈りました。途中一カ所にも道も付けました。小房大橋の塗装と今回の作業で、能登香の家の桜が一段ときれいに栄えることでしょう。ワラビ田も出来ました。

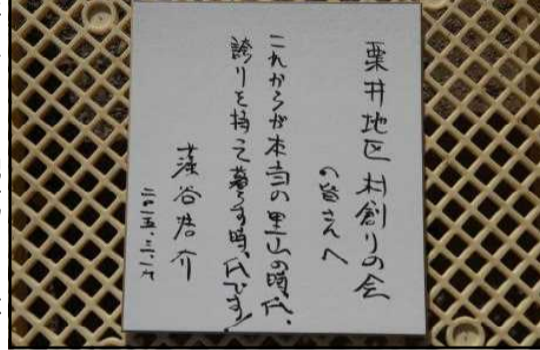


定住促進

藻谷浩介氏に頂いた色紙です。粟井地区村創りの会「本部」に掲載します。

これからが本当の里山の時代、誇りを持って暮らす時代です。

講演会の記事は、二月二十五日の山陽新聞にも掲載されました。その記事にもあるとおり、「田舎への移住希望者はたくさんいる。受け入れるために、空き家を有効利用することが重要。」空き家への優遇税制も終わり、今までの六倍の税金がかかるようになります。空き家は負担増になります。貸せば美作市からの改築費用も出ます。財産価値が上がり、維持管理も出来ず。



この粟井村は、若い人が好んで移住してくる地域にではなくてはなりません。粟井のある人が言っておられました。「私たちの字は、3家族13人が来られて、今までの家族が15人で、半数近くが移住してきた人です。しかも、全ての家族に小さい子どもがいる。」と。こうしたことが粟井村を救います。この先何年も安泰です。人口を減らさないためには、外から呼びよす以外に方法はないのです。外からの目が、粟井村を活性化してくれます。粟井村を守る手立てです。一人ひとりの心がけだけでも地域は救えます。

江見保育園入園式

四月六日

平成27年度入園者、粟井からは、有馬杏(1歳)さん、絹田菜桜(2歳)さん、岡本知夏(3歳)さん、有馬凜(4歳)さん、梅澤美悠風(5歳)さんの5名の入園でした。おめでとうございませう。粟井からは、「勝田ひまわり園」にも行かれています。4月現在園児96名、職員21名です。まだまだ増えるぞとです。元気な園生活をお祈りいたします。



江見小学校入学式

四月九日

新入学児童男子17名、女子17名、計34名です。粟井からは、稲垣颯太さん、名部颯さん、野口就さん、細川優樹さん、山本愛香さん、山本裕紀さんの6名でした。全校児童数は172名です。職員数27名です。

粟井からの児童は、合計22名です。始業式の日、式が始まった時は少し緊張気味だったそうですが、帰る頃はみんな元気で打ち解けた様子だったとです。ひと安心です。



6年生に手を引かれ入場。



教育委員会の祝辞。

共生対流事業担当・北浦さんからの礼状

最後になりましたが、3年間、この係を担当し、現地調査等に伺いさせていただいたりして、感じたことなどを書かせていただきます。

「都市農村交流は、都市の人が楽しむのではなく、地元の人が楽しむようにしましょう！」都市から交流を受け入れる際に、地元の人が楽しんでいる姿を見たら都会の人はどう思うでしょうか？

「楽しいところなんだなあ」と思うはずですが、そのことが地元のファンになつてくれたり、移住・定住につながると思います。都会の人を楽しませるのではなく、地元の人を楽しませる気持ちで取り組んでいただければと思います。

「地域のみんなでほめましょう！」地域のみんなでほめ合うことが大切だと思います。ピグマリオン効果というものがあつて、教育現場でクラスを2つに分け、テストをします。1つのグループは採点した答案を返す、もう1つのグループは、答案を返さず一人ひとりにテストの成績は良かったと告げる。(成績が良くなってもこれを繰り返すとほめていたグループの方がテストの点数が高くなつたというもの。(真意は諸説あり))

みんなが不平・不満ばかり言つていても前に進みません。大分県大山町の「梅栗を植えてハワイに行こう」というのも地域が一つの目標に向かって進むという意味ではとても良いですね。是非とも地域でほめる合うことを心掛けてみてください。

色々とお迷惑をおかけしましたが、皆様のおかげで楽しく仕事が出来ました。本当にありがとうございました。

中国四国農政局 農村計画部
農村振興課 都市農村交流係
北浦和祥

粟井村のブログ・ホームページ

最近、粟井村のホームページとブログ、見られましたか。共生対流が終わり、少し余裕が出来たので、これからはブログもホームページもドンドン更新していきます。併せて、粟井村の元気な人を紹介していきます。少し泥臭くなりますが粟井村らしい笑顔を発信していきます。いつでも声をかけて下さい。取材にお伺いします。

【編集後記】いよいよ粟井村の真価を問われる時がやってきます。校舎には「粟井地区村創りの会」本部も出来ました。本部には、いずれば粟井村の全ての組織が入る計画です。カラオケ同好会も復活です。グラウンドゴルフ、囲碁ボードも同好会準備中だぞとです。若い人の音楽バンドも出来つつあります。学童保育も案が固まりつつあります。美作市の地方創生に先駆けて粟井村創生です。校舎を拠点にしての小規模多機能自治の実現に向けて作業中です。社会教育施設として様々な体験活動も準備中です。

また、「能登香の里小房」のパンフレットも校舎の倉庫一カ所にそろい、営業活動も本格的に再開します。その前に、先ず地域の方に両方に足を運んでもらい、利用して頂くようお願いいたします。